

エビを食すために

水産科 3年 小森 陽介 齋藤 拓未 峯田 侑亮 安田 純也

1. 研究の動機

この研究は、長山先生の「エビをたらふく食べた〜い」の一言により始まりました。

2. 目的

エビを増殖および繁殖させ、おいしいエビ料理を考案することです。

3. 採集

5~6月にかけて矢沢の梁と大桶の池の2ヵ所でエビを採集しました。

矢沢の梁では石やテトラポットの間、水草周辺を網でさぐりました。大桶の底質は泥で濁っていて採集が困難でした。

4. エビの種類

長山先生はテナガエビを食べたいと言っていました。採集ができなかったため、今回はスジエビとヌカエビを養殖することにしました。

スジエビは、テナガエビ科スジエビ属に分類される淡水エビで、テナガエビと並んで食用として需要があります。

一方ヌカエビは、ヌマエビ科ヌマエビ属に分類される淡水エビで、小型なため、観賞用やエサ用として用いられています。



図1 スジエビとヌカエビ

5. 謎の小型エビ

私たちは淡水エビというと、テナガエビとスジエビしか分からなかったため、採集した小型のエビについて調べてみました。淡水エビは角の形である程度見分けが付くことが分かり、FRPで育てているエビを採取し、顕微鏡で見たところ写真のように根本がギザギザでなく平らでした。よって私たちの育てているのはヌカエビと分かりました。



図2 ヌマエビの角

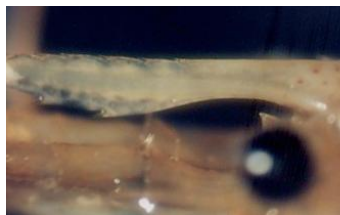


図3 ヌカエビの角



図4 採集された小型エビの角

6. 比較

表1 スジエビとヌカエビの比較

	スジエビ	ヌカエビ
繁殖期	3月～8月 (盛期6月～7月)	3月～10月 (盛期7月～8月)
食性	雑食性	草食性
大きさ	約50mm前後	約30mm前後
抱卵数	50～250個	未確認
性格	凶暴(共食い多)	おっとり(共食い少)

7. 飼育

7～9月にかけて、FRP水槽を用いてヌカエビを地下水で飼育しました。FRPは90cm×60cmのものを使用しました。おっとりした性格ですが、共食い防止のため水草を浮かべました。エサは3日に1回、人工飼料を細かく砕いて与えました。

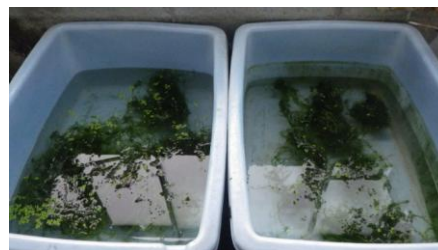


図5 飼育風景

8. 繁殖

ヌカエビは抱卵した親エビが1匹採集できたので、エサを与えながら自然繁殖させました。4ヶ月後、カウンターを用いて水槽内のエビを1匹1匹カウントしたところ約60倍の417匹に増えていました。

9. 調理

自分たちの育てたスジエビを使って煎餅を作りました。

10. まとめ

エビの繁殖には成功しましたが、大きく成長させることができず、様々なサイズのエビが混在していました。来年度は、後輩たちがこの研究を引き継いでくれればよいなと思っています。



図6 スジエビ煎餅